

14 自然の森林を切り開くとどのような環境変化があらわれてくるのだろうか

森林が環境に適応して、平衡状態（極相林）に達するまでには、数百年から数千年の年月を必要とします。その一部が、何らかの形で破壊されたらどのようなことがおこってくるのでしょうか。

森林が切り開かれたときの環境の激変は想像以上のものがあります。残された樹木は皮やけを起したり、乾燥したりして枯死し、また、日光が入りこむことによって、土じょうの乾燥をひきおこし、環境の破壊が連続的に拡大していくのです。中でも気象条件の変化は、植物に大きな影響をあたえます。風の強さの変化や、森林内部の気温、湿度の変化は、霜の付着や雪害にも大きく関係してくるのです。このような変化は樹木だけにあらわれてくるものではありません。

森林は一つの生態系を形づくっています。生態系とは、あるまとまった地域に生活するすべての生物と、それをとりかこむ気象などの環境とがつくりあげるひとつのまとまりをいいます。このことを物質循環を例にとって考えてみましょう。

水平的にも垂直的にも広い範囲に広がる森林では、植物の行なう光合成作用に



図-32 立枯れが目立つ磐梯吾妻スカイライン